

2025 年度（令和 7 年度）

# シラバス

スポーツ学科 サッカーコース

履正社スポーツ専門学校北大阪校

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	前期	単位数	2	単位
科目名	応接マナーⅠ(面接対策)				講師名	興梠 悦子				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別			必修	分野		一般		
授業概要	卒業と同時に就職できることを目標とし、そのための対策を中心に、ビジネス文書の書き方や話し方、第一印象を良くすることなどを1年生で学習したことを踏まえより習得を深めていく。									
到達目標	ビジネス実務マナー検定3級合格を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	オリエンテーション(授業要項、各自目標設定)									
第2回	自己分析・自己理解、自己PRについて									
第3回	就職するとは、就職面接とは									
第4回	履歴書作成									
第5回	模擬面接練習(入室・退室の基本動作確認)									
第6回	ビジネス文書①(書式基本)模擬面接30分									
第7回	ビジネス文書②(社内文書)模擬面接30分									
第8回	サービス接客検定2級対策 模擬面接30分									
第9回	サービス接客検定2級対策 模擬面接30分									
第10回	サービス接客検定模擬2級 模擬面接30分									
第11回	ビジネス文書③(社外文書) 模擬面接30分									
第12回	ビジネス文書④(送付状作成) 模擬面接30分									
第13回	就職面接対策(グループディスカッション)面接30分									
第14回	就職面接対策(グループディスカッション)面接30分									
第15回	振り返り									
テキスト	SIQ協会 医療スポーツ業界のサービス接客&ビジネスマナー									
参考文献										
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	後期	単位数	2	単位
科目名	応接マナーⅡ(面接対策)				講師名	興梠 悦子				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別			必修	分野		一般		
授業概要	卒業と同時に就職できることを目標とし、そのための対策を中心に、ビジネス文書の書き方や話し方、第一印象を良くすることなどを1年生で学習したことを踏まえより習得を深めていく。									
到達目標	ビジネス実務マナー検定3級合格を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	オリエンテーション(各自目標確認・再設定)									
第2回	就職対策 筆記試験①									
第3回	就職対策 筆記試験②									
第4回	就職対策 筆記試験③									
第5回	就職対策 筆記試験④									
第6回	就職対策 筆記試験⑤									
第7回	サービス接客検定対策2級									
第8回	サービス接客検定対策2級									
第9回	サービス接客検定対策2級									
第10回	サービス接客検定対策2級									
第11回	社交マナー(席次、来客応対、紹介方法)									
第12回	社交マナー(慶事、弔辞)									
第13回	社交マナー お見舞いはがきの書き方									
第14回	振り返り									
第15回	将来の自分を語る									
テキスト	SIQ協会 医療スポーツ業界のサービス接客&ビジネスマナー									
参考文献										
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	前期	単位数	2	単位
科目名	PC応用 I				講師名	上西 忠彬				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別			選択	分野		一般		
授業概要	近年、企業ではWORD・EXCELの操作はできて当たり前。スマホは使えるがPCは苦手という学生が多くなってきている。使えても基本が習得されておらず、PC使用前・使用中・使用後にトラブルの発生が多いように思われる。トラブル発生に至らない使用、またトラブル時の対応を習得し、Word・EXCELを使った目的の文章等の作成にあたって、基本から色々な操作を理解する。									
到達目標	迅速に解かりやすく美しい作品が作成できるようそれぞれに付随した特殊な操作方法を理解してPC検定の資格取得を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	パソコンの基本操作									
第2回	文書作成・保存・編集・印刷									
第3回	文書編集 ページ設定・文字の位置・装飾									
第4回	文書編集 段落・文字間行間・定型書式									
第5回	文書編集 表・罫線・図形の利用									
第6回	文書編集 画像・テキストの挿入									
第7回	文書作成機能の利用									
第8回	差し込み印刷の活用									
第9回	文書のひな型の活用									
第10回	複雑な文書作成									
第11回	文書作成の練習									
第12回	文書作成の練習									
第13回	文書作成の練習									
第14回	文書作成の練習									
第15回	文書作成の練習									
テキスト	しっかり学ぶWORD標準テキスト・しっかり学ぶEXCEL標準テキスト(記述評論社)									
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考	プロジェクター・パソコン使用									

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	後期	単位数	2	単位
科目名	PC応用Ⅱ				講師名	上西 忠彬				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別			選択	分野		一般		
授業概要	近年、企業ではWORD・EXCELの操作はできて当たり前。スマホは使えるがPCは苦手という学生が多くなってきている。使えても基本が習得されておらず、PC使用前・使用中・使用後にトラブルの発生が多いように思われる。トラブル発生に至らない使用、またトラブル時の対応を習得し、Word・EXCELを使った目的の文章等の作成にあたって、基本から色々な操作を理解する。									
到達目標	迅速に解かりやすく美しい作品が作成できるようそれぞれに付随した特殊な操作方法を理解してPC検定の資格取得を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	EXCELの基本									
第2回	関数の活用(SUM関数)									
第3回	関数の活用(AVERAGE関数)									
第4回	関数の活用(COUNT関数)									
第5回	関数の活用(MAX関数)									
第6回	関数の活用(IF関数)									
第7回	関数の活用(IF関数)									
第8回	関数の活用(ROUND関数)									
第9回	表の編集									
第10回	グラフ機能の活用									
第11回	関数の活用(VLOOKUP関数)									
第12回	データベース機能の活用									
第13回	表作成練習									
第14回	表作成練習									
第15回	表作成練習									
テキスト	しっかり学ぶWORD標準テキスト・しっかり学ぶEXCEL標準テキスト(記述評論社)									
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考	プロジェクター・パソコン使用									

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	後期	単位数	2	単位
科目名	リテールマーケティングⅢ (販売士3級対策講座)				講師名	米谷 侑子				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別		選択	分野	一般				
授業概要	販売士(リテールマーケティング)は、「流通業界で唯一の公的資格」で、業種・業態に関わらず、小売・流通業の成り立ちや店舗運営、販売に必要な商品知識や販売技術、仕入や在庫管理、マーケティングまで、販売のあらゆるノウハウを習得できるビジネス直結型の試験です。5年ごとに資格を更新する制度を設けていることから、講習会等の受講によって知識のブラッシュアップを図ることもできます。									
到達目標	2月に実施されるリテールマーケティング2級合格を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	オリエンテーション									
第2回	ストアオペレーションの基本的役割									
第3回	ディスプレイの基本的役割									
第4回	ディスプレイの基本的役割2									
第5回	作業割り当て基本的役割									
第6回	人的販売の基本的考え方									
第7回	小売業マーケティングの基本的考え方									
第8回	顧客管理・販売促進の基本的役割									
第9回	商圏の設定と出店・売り場づくりの基本的考え方									
第10回	商品の基本知識									
第11回	マーチャндаイジングの基本 仕入計画・在庫管理の基本的役割									
第12回	マーチャндаイジングの基本 仕入計画・在庫管理の基本的役割									
第13回	商品計画の基本									
第14回	利益追求の基本知識									
第15回	前期まとめ・振り返り									
テキスト	株式会社キャリアック 販売士ハンドブック基礎編-3級									
参考文献										
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)	○	その他 ( 検定試験結果内容 )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	冬季	単位数	2	単位
科目名	リテールマーケティングⅣ (販売士3級対策講座)				講師名	米谷 侑子				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別			選択	分野		一般		
授業概要	販売士(リテールマーケティング)は、「流通業界で唯一の公的資格」で、業種・業態に関わらず、小売・流通業の成り立ちや店舗運営、販売に必要な商品知識や販売技術、仕入や在庫管理、マーケティングまで、販売のあらゆるノウハウを習得できるビジネス直結型の試験です。5年ごとに資格を更新する制度を設けていることから、講習会等の受講によって知識のブラッシュアップを図ることもできます。									
到達目標	2月に実施されるリテールマーケティング2級合格を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	前期の振り返り									
第2回	流通における小売業の基本的役割									
第3回	流通経路別流通経路の基本役割									
第4回	形態別小売業の基本的役割									
第5回	店舗形態別小売業の基本的役割									
第6回	チェーンストアの基本的役割									
第7回	商業集積の基本的役割としくみ									
第8回	物流政策の戦略的展開									
第9回	商圈の設定と出店・売り場づくりの基本的考え方									
第10回	販売員の基本業務・法令知識									
第11回	販売事務と計算管理基本的知識									
第12回	売り場の人間関係・店舗管理の基本的役割									
第13回	検定試験模擬試験									
第14回	検定試験模擬試験									
第15回	後期まとめ・振り返り									
テキスト	株式会社キャリアック 販売士ハンドブック基礎編-3級									
参考文献										
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率			実技(実習)	
	○	授業態度		提出物(レポート)	○	その他 ( 検定試験結果内容 )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	通年	単位数	8	単位
科目名	審判法Ⅲ				講師名	梅本 博之				
					実務経験	○				
実務内容	プロリーグのレフェリー経験とプロレフェリー輩出									
講義形態	実技		必修・選択の別		選択	分野		専門実技		
授業概要	実技指導及びブラクティカルトレーニングを重視する。実際のゲームで主審、副審を体験させ、競技規則の適用や動きについて学ばせる。レベルの高い大学生、社会人のゲームを担当する上級審判員の実際のレフェリングを観戦させることによって、自分の課題を考									
到達目標	説得力のあるレフェリング技術を学ばせる。学んだことをレポートとしてまとめさせ、自ら解決すべき課題を認識させ改善させる。									
回数	講義計画				回数	講義計画				
第1回	競技規則テスト及び解答と解説				第16回	2025／2026競技規則改正				
第2回	フィジカルトレーニング・競技規則テスト				第17回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第3回	ゲームコントロールとスムーズランニング				第18回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第4回	観戦研修 関西学生サッカーリーグ				第19回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第5回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第20回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第6回	観戦研修 関西学生サッカーリーグ				第21回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第7回	手や腕の不正使用を許さないレフェリング				第22回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第8回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第23回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第9回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第24回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第10回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第25回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第11回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第26回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第12回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第27回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第13回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第28回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第14回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				第29回	審判実技レフェリング指導(主審＆副審)				
第15回	競技規則テスト及び解答と解説				第30回	一年間のまとめ・信頼される審判員を目指し				
テキスト										
参考文献	『詳解 サッカーのルールと審判法2005』(浅見俊雄・永嶋正俊 著)「大修館書店」									
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
		授業態度		提出物(レポート)		その他 (	)			
履修上の注意										
備考										



2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	前期	単位数	2	単位
科目名	イベント運営法Ⅰ				講師名	紙本 天平				
実務内容					実務経験					
講義形態	講義	必修・選択の別		必修	分野	専門理論				
授業概要	前期期間中に学内グラウンドで、外部の女子選手やジュニアチームを招待して、履正社フェスティバルや履正社カーニバルを実施する。									
到達目標	大会概要やチーム募集などの各種決め事は学生主体で実施し、安全面、指導内容、募集方法などイベントを開催するにあたって必要なことができる。									
回数	講義計画									
第1回	イベント運営とは									
第2回	イベント運営とは									
第3回	フェスティバルの企画									
第4回	フェスティバルの企画・役割分担									
第5回	フェスティバル準備									
第6回	フェスティバル準備									
第7回	フェスティバル準備									
第8回	フェスティバル準備									
第9回	フェスティバル準備									
第10回	フェスティバル準備									
第11回	フェスティバル準備									
第12回	フェスティバル準備									
第13回	フェスティバルの最終確認・リハーサル									
第14回	フェスティバル実施・本番									
第15回	フェスティバル振り返り・まとめ									
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 (				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー コース	開講時期	2年 後期	単位数	2 単位
科目名	イベント運営法Ⅱ		講師名	紙本 天平	
実務内容			実務経験		
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論
授業概要	後期期間中に学内グラウンドで、外部の女子選手やジュニアチームを招待して、履正社フェスティバルや履正社カーニバルを実施する。				
到達目標	大会概要やチーム募集などの各種決め事は学生主体で実施し、安全面、指導内容、募集方法などイベントを開催するにあたって必要なことができる。				
回数	講義計画				
第1回	フェスティバル実施の反省・改善				
第2回	カーニバル企画				
第3回	カーニバル企画・役割分担				
第4回	カーニバル準備				
第5回	カーニバル準備				
第6回	カーニバル準備				
第7回	カーニバル準備				
第8回	カーニバル準備				
第9回	カーニバル準備				
第10回	カーニバル準備				
第11回	カーニバルの最終確認・リハーサル				
第12回	カーニバル実施				
第13回	カーニバル振り返り・まとめ				
第14回	来年度のイベント運営法に向けて				
第15回	1年間の総まとめ				
テキスト					
参考文献					
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○
	○	授業態度	○	提出物(レポート)	○
履修上の注意	出席率 ○ 実技(実習) ○ その他 ( )				
備考					

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	前期	単位数	2	単位
科目名	サッカーゼミⅠ				講師名	紙本 天平				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別		必修	分野		専門理論			
授業概要	現代サッカーの流れと日本サッカーの現状(成果と課題)を把握すること、日本の育成年代の指導における取り組みや課題を学ぶことによって、指導者としての知見を広め、日本サッカーの発展に寄与することを目的とする。また、育成年代における指導理論や指導法に関する研究を行い、論文を作成し、研究結果の発表を行う。									
到達目標	研究したことを論文にまとめ、プレゼンテーションする。									
回数	講義計画									
第1回	授業ガイダンス・イントロダクション									
第2回	指導者の役割について									
第3回	世界の指導者たち									
第4回	現代サッカーの流れと日本の現状(成果)									
第5回	現状サッカーの流れと日本の現状(課題)									
第6回	日本サッカー育成年代について(U-12)									
第7回	日本サッカー育成年代について(U-14)									
第8回	日本サッカー育成年代について(U-16)									
第9回	日本サッカー育成年代について(女子・キッズ)									
第10回	日本サッカークラブにおける指導者の現状									
第11回	日本サッカークラブにおける指導者の現状									
第12回	ゼミ発表までの流れ									
第13回	プレゼンテーションについて									
第14回	研究テーマ選択									
第15回	研究テーマ選択									
テキスト										
参考文献										
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	後期	単位数	2	単位
科目名	サッカーゼミⅡ				講師名	紙本 天平				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別		必修	分野		専門理論			
授業概要	現代サッカーの流れと日本サッカーの現状(成果と課題)を把握すること、日本の育成年代の指導における取り組みや課題を学ぶことによって、指導者としての知見を広め、日本サッカーの発展に寄与することを目的とする。また、育成年代における指導理論や指導法に関する研究を行い、論文を作成し、研究結果の発表を行う。									
到達目標	研究したことを論文にまとめ、プレゼンテーションする。									
回数	講義計画									
第1回	ディスカッション(日本のサッカーについて)									
第2回	ディスカッション(日本のサッカーについて)									
第3回	研究及び論文作成									
第4回	研究及び論文作成									
第5回	研究及び論文作成									
第6回	研究及び論文作成									
第7回	研究及び論文作成									
第8回	パワーポイント作成									
第9回	パワーポイント作成									
第10回	パワーポイント作成									
第11回	パワーポイント作成									
第12回	ゼミ発表リハーサル									
第13回	ゼミ発表リハーサル									
第14回	ゼミ発表会									
第15回	ゼミ発表の反省・まとめ									
テキスト										
参考文献										
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	通年	単位数	8	単位
科目名	応用実技Ⅰ				講師名	岡中 勇人				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	実技		必修・選択の別		必修	分野		専門実技		
授業概要	技術レベルの向上だけではなく、アジリティ系のトレーニングを多くおこなえながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。 1つのポジションでは無く、ポリバリエーションな能力発揮にも重点を置き、今まで経験したことのないポジション変更により、多面的な感覚を身に付ける。									
到達目標	持久性と俊敏性の向上及び様々なポジションを経験することによるポリバリエーション性の向上。									
回数	講義計画				回数	講義計画				
第1回	コーディネーション・個人技術・テクニク				第16回	個人技術・フィジカルトレーニング(筋力)				
第2回	コーディネーション・個人技術・テクニク				第17回	個人技術・フィジカルトレーニング(筋力)				
第3回	コーディネーション・個人技術・テクニク				第18回	フィジカルトレーニング(持久力・スピード)				
第4回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)				第19回	フィジカルトレーニング(持久力・スピード)				
第5回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)				第20回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)				
第6回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)				第21回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)				
第7回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)				第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第8回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)				第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第9回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)				第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)				
第10回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)				第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)				
第11回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)				第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第12回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)				第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第13回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)				第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第14回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)				第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第15回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)				第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	通年	単位数	8	単位
科目名	応用実技Ⅱ				講師名	岡中 勇人				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	実技		必修・選択の別		必修	分野		専門実技		
授業概要	ボールを扱う技術レベルの向上を目指し、ボールを蹴る、止める、運ぶトレーニングを中心に 行う。ボールを使ったトレーニングでは、ボールコントロール、パスコントロール、シュート コントロールと3つのテーマに分ける。									
到達目標	トレーニングやゲームの中でボールを扱う基本技術を身に付けるよう発展させる。									
回数	講義計画				回数	講義計画				
第1回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)				第16回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)				
第2回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)				第17回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)				
第3回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)				第18回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)				
第4回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)				第19回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)				
第5回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)				第20回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)				
第6回	ボールコントロール(パス・トラップ)				第21回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)				
第7回	ボールコントロール(パス・トラップ)				第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第8回	ボールキープ(パス・トラップ)				第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第9回	ボールキープ(パス・トラップ)				第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第10回	ボールコントロール(シュート)				第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第11回	ボールコントロール(シュート)				第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第12回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)				第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第13回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)				第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第14回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)				第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第15回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)				第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	通年	単位数	8	単位
科目名	応用実技Ⅲ				講師名	岡中 勇人				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	実技		必修・選択の別		必修	分野		専門実技		
授業概要	基本技術レベルの向上だけではなく、アジリティ系のトレーニングを多く取り入れながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。個人戦術での攻撃と守備の中で数的同数だけでなく、数的不利と数的有利な状況をオーガナイズすることで個人の戦術理解度を高める。									
到達目標	グループ戦術の中でも最善な戦術を共有し、実行できるよう身に付ける。									
回数	講義計画				回数	講義計画				
第1回	アジリティトレーニング・個人技術				第16回	アジリティトレーニング・個人技術				
第2回	アジリティトレーニング・個人技術				第17回	アジリティトレーニング・個人技術				
第3回	個人技術・テクニク				第18回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				
第4回	個人技術・テクニク				第19回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				
第5回	個人技術・テクニク				第20回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第6回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第21回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第7回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)				
第8回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)				
第9回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第24回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第10回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第25回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第11回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				第26回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第12回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				第27回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第13回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	通年	単位数	8	単位
科目名	応用実技Ⅳ				講師名	岡中 勇人				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	実技		必修・選択の別		必修	分野		専門実技		
授業概要	守備の基本であるボールを奪うこと、攻撃の基本であるゴールを奪うことをテーマとした対人(デュエル)トレーニングを行う。対人をテーマとしているため、フィジカル強化も重点的に行う。									
到達目標	パワーやスピード、持久力を高めながら、グループ戦術を身に付ける。									
回数	講義計画				回数	講義計画				
第1回	アジリティートレーニング・フィジカル				第16回	アジリティートレーニング・フィジカル				
第2回	アジリティートレーニング・フィジカル				第17回	アジリティートレーニング・フィジカル				
第3回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第18回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第4回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第19回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第5回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第20回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第6回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第21回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第7回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第22回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第8回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第23回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第9回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第10回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第11回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第12回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										



2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	前期	単位数	4	単位
科目名	チーム戦術Ⅲ				講師名	岡中 勇人				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	実技	必修・選択の別			選択	分野		専門実技		
授業概要	コーナーキックやフリーキックなどのセットプレーの確認、戦術の確認などの練習を多く取り入れ、週末の試合を想定したトレーニングを行う。									
到達目標	試合を想定したトレーニングの中でチーム戦術を理解する。									
回数	講義計画									
第1回	コーディネーショントレーニング									
第2回	コーディネーショントレーニング									
第3回	コーディネーショントレーニング									
第4回	セットプレー(攻撃)①									
第5回	セットプレー(攻撃)②									
第6回	セットプレー(攻撃)③									
第7回	セットプレー(守備)①									
第8回	セットプレー(守備)②									
第9回	セットプレー(守備)③									
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)									
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)									
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 (	)			
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	後期	単位数	4	単位
科目名	チーム戦術Ⅳ				講師名	岡中 勇人				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	実技		必修・選択の別		必修	分野		実習		
授業概要	コーナーキックやフリーキックなどのセットプレーの確認、戦術の確認などの練習を多く取り入れ、週末の試合を想定したトレーニングを行う。									
到達目標	試合を想定したトレーニングの中でチーム戦術を理解する。									
回数	講義計画									
第1回	コーディネーショントレーニング									
第2回	コーディネーショントレーニング									
第3回	コーディネーショントレーニング									
第4回	セットプレー(コーナーキック)①									
第5回	セットプレー(コーナーキック)②									
第6回	セットプレー(コーナーキック)③									
第7回	セットプレー(フリーキック)①									
第8回	セットプレー(フリーキック)②									
第9回	セットプレー(フリーキック)③									
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)									
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)									
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(11vs11)									
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(11vs11)									
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	後期	単位数	2	単位
科目名	スポーツ経営学				講師名	権藤 弘之				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別			選択	分野		専門理論		
授業概要	地域や人々が期待するスポーツを広めて行く上で欠かせない様々なスポーツ環境整備のために必要なスポーツマネジメントについての具体策を学ぶ。									
到達目標	学習した知識をもとに自らが実践に生かせるマネジメント能力を高める。									
回数	講義計画									
第1回	スポーツマネジメントの領域と特性									
第2回	スポーツ組織の持続可能性【3-③】									
第3回	「目的」のマネジメント【3-③】									
第4回	「補完」のマネジメント【3-③】									
第5回	地域におけるスポーツ振興方策と行政									
第6回	総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義									
第7回	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任①【1-⑪】									
第8回	スポーツ仲裁【1-⑫】									
第9回	地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」①【3-③】									
第10回	地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」②【3-③】									
第11回	スポーツ少年団の活動分野と内容【3-③】									
第12回	日本スポーツ少年団と総合型クラブとの連携・協働【3-③】									
第13回	スポーツ指導者に求められるマネジメント【3-③】									
第14回	スポーツ組織の特性【3-③】									
第15回	まとめ									
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book									
参考文献										
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	2年	後期	単位数	2	単位
科目名	クラブマネジャー論				講師名	紙本 天平				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別		選択	分野		専門基礎			
授業概要	地域スポーツクラブを取り巻く環境と目指すべきスポーツクラブに関する事業のミッションとビジョンを理解する。地域スポーツクラブのマネジメントの仕組みについて理解し、クラブづくりに関して、具体的にイメージし、アシスタントマネジャーが果たすべき仕事と役割について学ぶ。									
到達目標	地域スポーツクラブの役割とアシスタントマネジャーの仕事を理解し、公認アシスタントマネジャー資格取得を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	クラブマネジャー・アシスタントマネジャーの位置づけ、求められる判断能力									
第2回	ロジカルシンキング、コミュニケーション、マーケティングについて									
第3回	経営戦略、人・組織のマネジメントとホスピタリティ									
第4回	施設の管理と運営、スポーツクラブの安全管理									
第5回	クラブの創設について									
第6回	自主運営に必要な条件									
第7回	顧客とスタッフの定義									
第8回	NPO法人格の取得方法									
第9回	活動拠点の確保									
第10回	財務とは、財源の確保について									
第11回	事業計画書の作成									
第12回	事業計画書の評価									
第13回	総合型地域スポーツクラブ 事例クラブの紹介									
第14回	総合型地域スポーツクラブ 事例クラブの紹介・クラブハウスの確保									
第15回	まとめ									
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会 アシスタントマネジャー養成テキスト									
参考文献										
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ( )				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位
科目名	JATI対策講座 I				講師名	宮崎 拓哉				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義・実技	必修・選択の別		選択	分野	専門理論				
授業概要	トレーニングの知識や考え方、身体の使い方を学ぶ。 理論編の教科書を通じ、身体の解剖、生理学、バイオメカニクスなど、 様々な知識を理解し、実技で体験してトレーニングについて学ぶ。									
到達目標	日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者（JATI-ATI）の資格取得を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	授業ガイダンス									
第2回	トレーニング基本（原理・原則）									
第3回	実技トレーニング（ベンチプレス①）									
第4回	実技トレーニング（ベンチプレス②）									
第5回	実技トレーニング（部位：大胸筋）									
第6回	実技トレーニング（部位：肩周囲）									
第7回	実技トレーニング（部位：背中）									
第8回	実技トレーニング（部位：腹部）									
第9回	実技トレーニング（部位：上腕・前腕）									
第10回	実技トレーニング（スクワット①）									
第11回	実技トレーニング（スクワット②）									
第12回	実技トレーニング（下半身：マシン）									
第13回	実技トレーニング（バーベル等）									
第14回	トレーニングプログラム作成									
第15回	まとめ（理論・実技）									
テキスト	トレーニング指導者テキスト 理論編・実践編・実技編（各1冊、合計3冊） 出版社：日本トレーニング指導者協会									
参考文献										
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技（実習）		
	○	授業態度	○	提出物（レポート）		その他（ ）				
履修上の注意										
備考										

2025(令和7) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位
科目名	JATI対策講座Ⅱ				講師名	宮崎 拓哉				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論					
授業概要	トレーニングの知識や考え方、身体の使い方を学ぶ。 理論編の教科書を通じ、身体の解剖、生理学、バイオメカニクスなど、 様々な知識を理解し、実技で体験してトレーニングについて学ぶ。									
到達目標	日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者（JATI-ATI）の資格取得を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	前期トレーニングの復習									
第2回	実技トレーニング（パワークリーン①）									
第3回	実技トレーニング（パワークリーン②）									
第4回	実技トレーニング（パワークリーン③）									
第5回	実技トレーニング（スナッチ①）									
第6回	実技トレーニング（スナッチ②）									
第7回	実技トレーニング（プライオメトリクス①）									
第8回	実技トレーニング（プライオメトリクス②）									
第9回	実技トレーニング（プライオメトリクス③）									
第10回	実技トレーニング（プライオメトリクス④）									
第11回	目的に応じたトレーニング（筋肥大）									
第12回	目的に応じたトレーニング（筋力・パワー）									
第13回	トレーニングプログラム作成									
第14回	トレーニングプログラム作成②									
第15回	まとめ（理論・実技）									
テキスト	トレーニング指導者テキスト 理論編・実践編・実技編（各1冊、合計3冊） 出版社：日本トレーニング指導者協会									
参考文献										
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技（実習）		
	○	授業態度	○	提出物（レポート）		その他（ ）				
履修上の注意										
備考										